徳山工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	哲学

科目基礎情報

科目番号	0036	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	情報電子工学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	アン・トムソン. 2012. 『倫理のブラッシュアップ：実践クリティカル・リーズニング応用編』. 斎藤浩文, 小口裕史(共訳). 春秋社. および配布プリント		
担当教員	高橋 祥吾		

到達目標

1.レポートが書けるようになる
2. 哲学・倫理学に関わる知識・理論・原則を理解し、文章に適用して記述することができる。
3. 論証を中心に、文章を論理的に分析・評価することができるようになる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
レポート作成能力	引用の規則を守り，適切なレポートが作成できるだけでなく，複数の引用スタイルでの記述ができる.	引用の規則を守り，間違いのない引用や，適切な体裁のレポートを作成できる	引用の規則を守れない．あるいは，レポートのレベルが著しく低い
哲学・倫理学の知識	学・倫理学に関わる知識・理論・原則を答え，記述するだけでなく，その原則を具体的な事例に適用することができる.	学・倫理学に関わる知識・理論・原則を答えることができる．および，その理論などを引用に頼らずに記述することができる.	学・倫理学に関わる知識・理論・原則を答えることができない．および，その理論などを説明するために，引用や他人の説明に依拠することしかできない.
論証の分析・評価	内容によらず，様々な文章を論理的に分析・評価することができる.	論証を中心に、馴染みがないが短い文章あるいは，なじみがあるが長いを論理的に分析・評価することができるようになる。	論証を中心に、文章を論理的に分析・評価することができない.

学科の到達目標項目との関係

到達目標 A 2

教育方法等

概要	哲学・倫理学における思考方法・推論の方法を身に付け、その方法を用いて自分で社会における諸問題について議論を形成し文章にすることができるようになることで市民社会において必要な基礎的能力を身に付ける。
授業の進め方・方法	教科書を用いながら講義を行う。授業中のプリントによる回答などがある。また、グループで討議することがある。
注意点	blackboardなどを利用するので，使い方を把握しておくこと. 【関連科目】倫理、技術者倫理

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、論証について	授業の進め方と、論証の見分け方
		2週	道徳論証を見分ける	論証と論証でないものを見分けることができる 論証と道徳論証を見分けることができる
		3週	論証の構造 接続表現を判別する	結合論証と合流論証を区別することで，論証の構造を把握できる. 文章において論理的に適切な接続表現を選ぶことができる 複数の主張の中から中心的主張（結論）を取り出すことができる
		4週	道徳論証を分析する１	暗黙の前提を理解できる. 分析の手順に従って、道徳論証を分析できる
		5週	道徳論証を分析する１	分析の手順に従って、道徳論証を分析できる
		6週	道徳推論を評価する１	道徳推論の評価についての概要を理解する. 推論における誤謬を理解する.
		7週	道徳推論を評価する２	推論における誤謬を理解する. 実際に，論証を分析・評価してみる.
		8週	道徳推論を評価する3	実際に，論証を分析・評価してみる. 分析に必要な要約を練習する
	2ndQ	9週	道徳推論を評価する4	長い文章の分析と評価を，グループに分かれて実施する.
		10週	道徳推論を評価する５（人工妊娠中絶）	人工妊娠中絶の概説と，それを踏まえてトムソンの文章をグループで分析・評価する.
		11週	原則の評価と概念の明確化	グループで話し合って、権利概念の明確化に挑戦する
		12週	道徳原則と道徳理論1	権利概念の開設と，功利主義について
		13週	妥当な演繹推論と論証の評価	妥当な演繹推論の考察を通じて，論証の評価との関係を把握する.
		14週	これまでの復習	ここまでの内容について，自分たちで問題を作り合い，それを解くことができる.
		15週	期末試験	これまでの内容から出題する
		16週	答案返却など	試験の解答と解説を行う
後期	3rdQ	1週	レポートを評価する１	夏休みの宿題を自分たちで評価する。文献の引用の方法を学ぶ
		2週	道徳原則と道徳理論2	義務論および徳倫理学の概要を理解できるようになる.
		3週	道徳原則と道徳理論3	自由至上主義とタバコの自由について

		4週	ロールズの自由主義	ロールズのリベラリズムについて学ぶ
		5週	公平性と感情	感情と公平性のバランスについて考える
		6週	意思決定１	最適化戦略に基づいた意思決定を理解できる
		7週	意思決定2	最適化戦略に基づいた意思決定を、グループで話し合って実施する。
		8週	動物の倫理と功利主義1	教科書の情報に基づいて、功利主義者として適切な動物の倫理を導き出す。
	4thQ	9週	動物の倫理と功利主義2	功利主義と他の道徳理論との特徴の差異を明らかにする
		10週	相対主義	相対主義の問題点と利点について、文化相対主義を中心に考える
		11週	レポートを再度評価する	引用の仕方も含めて、再度レポートを評価する
		12週	選挙のパラドクス	選挙の意義を考えるために、投票によって生じるパラドクスを学ぶ
		13週	日本国憲法を読む1	日本国憲法とその改正案を比較する.
		14週	日本国憲法を読む2	日本国憲法の改正についての意見を分析・評価する
		15週	期末試験	後期の内容を中心に、1年を通しての内容を問う。
		16週	答案返却など	試験の解答と解説を行う

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	3	
				諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。	3	
				諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	3	
				民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。	3	
				資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。	3	
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	3	
			地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	3	
				社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	3	
				今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	3	
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	3	
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みついて理解できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	事象の本質を要約・整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。	3	
				複雑な事象の本質を整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。結論の推定をするために、必要な条件を加え、要約・整理した内容から多様な観点を示し、自分の意見や手順を論理的に展開できる。	3	

評価割合

	試験	レポート	相互評価	課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	45	0	20	0	5	100
レポート作成能力	0	20	5	10	0	5	35
哲学・倫理学の知識等	15	15	0	0	0	0	30
論証の分析・評価	15	10	5	10	0	0	35